昭和十一年六月十八日

大阪毎日
山口版

山口市道場門前町（電一一八七番）大阪毎日新聞社山口支局
西部總局
下關出張所
宇部通信部
萩通信部
德山通信部
柳井通信部
防府通信部
西細江町（電五一九番）
宇部市西區上通四（電六七〇番）
萩市椿東（電五五八番）
德山市三番町（電四五七番）
柳井町（電三五一番）
防府町三田尻（電五三九番）

あす見逃がすな 黑衣のお日様

學園の一角に望遠鏡の放列

梅光女學院の日食觀測陣！

天界の神秘〝黑衣の太陽〟に全世界の天文學者が敢然科學の挑戰を試みる待望の十九日はあすだ、この日綠風渡る下關梅光女學院校庭では花も恥らふ乙女天文家達によつて永遠の戀人皆既日食邂逅の豪華バラエテイが開かれる、廣津同院長が總司令官、梅見、近木兩教諭が參謀となり

同校五年生八十名の制服の處女達を動員、カーネーションの花咲く學園の一角に英國製三インチ級屈折望遠鏡、八インチ級反射天體望遠鏡の二台を据ゑつけ、午後二時十二分の初虧を期して觀測を開始、二分間天界神秘を色レンズの卽製望遠器を通じつぶら瞳の放列で見事キヤツチし午後四時卅四分の復円まで約二時間半百六十の麗眸を集中して〝ベールのお日様〟をさん〴〵射すくめようといふので

街の天文學者として知られた赤間町伊勢安呉服店の若主人河村光次郎、福岡專賣局下關出張所長加納慶吉兩氏はじめ關門天文同好會のアマチユア連十數名も參加合流し女學生觀測隊に精彩を添へることとなつた